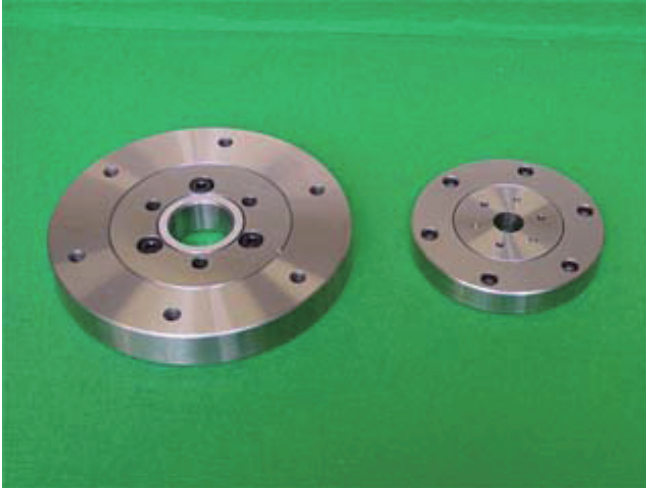
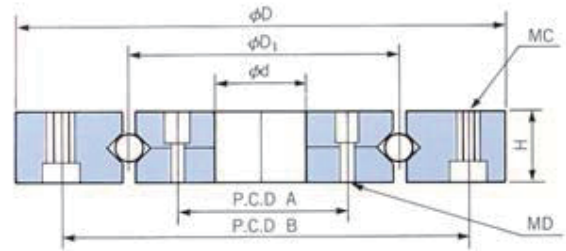


# 超高精度回転ユニット 同心回転ディスク



■ 構造図



同心回転ディスクは、超高精度回転体の追求からJPN株式会社の精密加工技術により、超硬精度回転母体として開発された回転ユニットです。

内外輪のV溝にボールを入れた単純な構造ですが、ボールの転動するV溝を真円度 $0.5\mu\text{m}$ 以下の高精度に仕上げることにより、同心回転精度及び内外輪回転面の振れ精度 $1\mu\text{m}$ 以下を実現しました。

弊社のV型チャックと組み合わせた面振れ測定器は、 $1\mu\text{m}$ 以下、フリーチャックと組み合わせた面振れ測定器は $2\mu\text{m}$ 以下の総合精度（マスタにて）を実現しています。通常は、ボールの遊びが0になるように予圧を調整していますが、用途に応じて予圧を調整することが可能で、より高加重にも耐えられる構造になっています。

単位mm

呼び径 $\phi d$	$\phi D$	H	$\phi D1$	P.C.D A	P.C.D B	MC	MD	同心回転精度
12.5	80	12	45	28	67	6-M4	3-M3	$0.8\mu\text{m}$ 以下
25	120	17	72	45	100	6-M5	3-M5	$1\mu\text{m}$ 以下

内外輪回転面の振れ精度  $1\mu\text{m}$ 以下